



みんなの図書館 2 月号

茨城町立図書館 〒311-3131 東茨城郡茨城町小堤 1037-1

TEL 029-240-7131 FAX 029-240-7132

PC <http://www.lib.t-ibaraki.jp/> 携帯電話 <https://www.lics-saas.nexs-service.jp/>

ibaraki/mobile/index.do

(スマートフォン用)



2022年2月22日

なんとまあ！今年は2並びですね。
2月22日は、もともと「にゃんにゃん」の語呂合わせから、『猫の日』といわれています。干支の虎がネコ科の動物ですから、何かご縁がありそうですね。ちなみにこの日は「一粒万倍日」とも重なりますので、どこかで『猫』を見かけたら、ご利益があるかもしれませんよ。

臨時休館のお知らせ

2月26日(土)は、ゆうゆう館内電気工事により、全館停電となるため、図書館を臨時休館とさせていただきます。皆様には大変ご迷惑をおかけしますが、ご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。

故 小川 菊松 氏が茨城町名誉町民に!!

小川菊松氏は、当町出身の実業家で、東京・文京区にある出版社「誠文堂新光社」の創業者です。同社からは、ゆうゆう館建設時に多額の寄付をしていただいただけでなく、現在の図書館オープン時から今日にいたるまで、毎月雑誌や本が寄贈されています。きっとみなさんも一度は手にしたことがあるのではないのでしょうか。

図書館には、小川菊松記念コーナーが設けられ、同氏の銅像や、貴重な出版物も展示されておりますので、ご来館の際には、ぜひご覧下さい。

絵本となかよし

2月 10日(木)

2月 24日(木)

AM10:30

図書館 おとぎのくに



しらゆきひめのおはなし会

2月 12日(土)

PM 2:00

図書館 おとぎのくに

※2月26日(土)はお休みです



☆ どちらのおはなし会も、人数により2F視聴覚室でおこなうことがあります。

☆ おはなし会は予告なく、変更・中止することがあります。

◆ 休館日 月曜・第3木曜・第4日曜 ◆ 開館時間 火~金 9:30~18:00 土日祝 9:30~17:00

新刊☆新着本のご案内



◆ 一般書

- ポタニカ (朝井まかて)
- おネコさま御一行 (群 ようこ)
- 恋とシェイクとバレンタイン (神戸 遙真)
- その日まで (瀬戸内寂聴)
- 絶縁家族終焉のとき (橘 さつき)
- トロナお別れ事務所 (ソンヒョンジュ)
- 高齢親への言葉がけ (柳本 文貴)

◆ 児童書

- よそんちの子 (いとうみく)
- やさいのがっこう (なかやみわ)
- トゲトゲくんはね、 (クオヅ ヤギ ヨ)
- ながみちくんがわからない (数井 美治)
- おにたくんのおにぎり (はしもとえつよ)
- ケケと半分魔女 (角野 栄子)

あの名作を絵本で

名作といわれる本を一度は読んでみたいものの、なかなか手にとりにくいですね。でもそれを絵本や児童書で読んでみたらいかがでしょう。

- 絵本「奥の細道」 松尾芭蕉
- 絵本「吾輩は猫である」 夏目漱石
- 絵本「蜘蛛の糸」 芥川龍之介
- 絵本「走れメロス」 太宰 治
- 絵本「銀河鉄道の夜」 宮沢賢治
- 絵本「桐壺」源氏物語より 紫 式部 etc

今、読みたい本—人間の愛の心を描く

『島ひきおに』 作 山下 明生
人間と一緒に暮らしたいと、すみかの島をひっばって鬼は村へとやってきましたが、だれもこわがって遊んでくれません。鬼はしかたなく、また島をひいて友達を探しに南の島へと向かいますが……。ちょっぴり切ない鬼の本です。

図書館利用のすすめ (レファレンス)

1. 借りたい資料が分かる方

- 図書検索機で探していただくか、当館にない場合は、県内外の図書館から借りることもできます。カウンターにお申し出下さい。

2. 資料 (書名等) が分からない方

- 図書検索機でキーワードでの検索も可能ですが、図書館司書に聞いていただくことが一番です。分かる範囲で構いませんので、借りたい本の内容をお伝え下さい。

図書館カレンダー

2月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28					

■は休館日

図書館員のひとりごと

2月3日は節分。豆をまいて邪気を払い、恵方巻を食べるとというのが日本の風習ですが、恵方巻の歴史は意外と古く、江戸から明治時代にかけて、大阪の花街で節分のお祝いや商売繁盛を願って食べたというのが始まりらしいです。コンビニなどでも手軽に買うことができますが、その裏で最近では需要が少なく、残ったものは廃棄処分されていることが大きな問題となっています。SDGsが広く世界で叫ばれる中で、日本は伝統との調和も考える必要がありますね。